

# としょかん 図書館だより 7月

令和6年7月号  
御幸が原小学校図書館  
お家の人といっしょに  
読んでくださいね。

7月に入りました。暑い日が続いていますね。  
6/17～6/28まで、校内 読書週間でした。期間中は5冊借りられました。どんな本を借りて  
読みましたか？

## どくしょしゅうかん ようす 読書週間の様子



休み時間には、たくさんの児童が来館しました。



## 大活躍します

本のラベルを見ると本の分類がわかりますね！

「読書スタンプ」  
5つの分類の本をか  
借りてスタンプを集  
めると、しおりをプ  
レゼントしました。



「おはなし会」  
昼休みに2回、  
図書委員による  
「読み聞かせ」を  
しました。

2024年6月秋内読書週間 6/17-28  
★5つの分類の本を借りてスタンプを集めよう！  
(4分類は、本のなかまの1/2)

0冊	1冊	2冊	3冊	4冊	5冊
6冊	7冊	8冊	9冊	えんぴ	

本を返すと、「お  
みくじ」がひけまし  
た。いいことはあり  
ましたか？

PTA事業部さんが本  
だなをきれいにおそうじ  
をしてくださいました。



### ★ドクシヨマンカード★

マッチョマンカードの種類の1つで、貸出30冊で  
もらえるカードです。達成者には、図書室の先生か  
図書委員がお渡しします。  
6月までで 119 人が達成しています！  
**めざせ！スーパーみはらっ子！**



## 「7月3日から新しいお札が発行されました



10000円札 渋沢栄一  
生涯において、  
500もの企業設立な  
どにかかわり、「日本  
近代社会の創始者」と  
言われます。

5000円札 津田梅子  
生涯を通じ  
て、女性の地位  
向上と女子  
教育に尽くし  
た教育家です。

1000円札 北里柴三郎  
破傷風を予防・治  
療する方法を開発  
した細菌学者で「近  
代日本医学の父」と  
呼ばれています。

参照：インターネット「新しい日本の銀行券特設サイト」

せいしょうねんどくしょかんそうぶん  
**「青少年読書感想文コンクール課題図書**  
 かだいとしょ

どくしょかんそうぶん か  
 読書感想文を書いて  
 みましよう！



1・2年生



「アザラシのアニュー」  
 あずみ虫：作（童心社）  
 海にうかぶ氷の上で、アザラシのあかちゃんがうまれました。野生動物の子どもが懸命に成長する大ぼうけんの物語！



「ごめんね でてこい」  
 ささきみお：作（文研出版）  
 だいすきなおばあちゃんに「きれい」と言っちゃった。「ごめんね」が出てこない。あやまりたいのに…。



「おちびさんじゃないよ」  
 マヤ・マイヤーズ：作（イマジネーション・プラス）  
 テンちゃんは小さな女の子。ある日、いじめっ子が、マルくんにいじわるをします。そのときテンちゃんは…。



「チョコレートはどうやってできるの？」  
 田村孝介ほか：写真（ひさかたチャイルド）  
 チョコレートはどうやってできるの？食べものができるまでのふしぎと、それにかかわる人々のおしごとを知ろう！

3・4年生



「いつかの約束1945」  
 山本悦子：作（岩崎書店）  
 ある日、出会ったのは、9歳だというおばあさん。名前はすず。どうしてすずは、おばあさんの体になってしまったのでしょうか。



「しゅげむの夏」  
 最上一平：作（佼成出版社）  
 ぼくたちは仲良し4人組。難病をかかえるかつちゃん、願いをかなえるため、ぼくたちの夏休みの冒険が始まります。



「さようなら プラスチックストロー」  
 ディー・ロミート：作（光村教育図書）  
 プラスチックストローはなぜ問題になっているのでしょうか？プラスチックのゴミが生き物に与える影響や解決策を考えるきっかけになります。



「聞いて聞いて！音と耳のはなし」  
 高津修・遠藤義人：作（福音館書店）  
 音は震える空気の波。大きな音は大きくうねり、高い音は細かく震える。音のふしぎと耳のしくみがわかります。

5・6年生



「ぼくはうそをついた」  
 西村すぐり：作（ポプラ社）  
 ぼくはあの人を救いたくて、息子のふりをした。小学5年生のリョウタが、ヒロシマの街を歩き、原爆の傷と人々の想いについて考えます。



「ドアの向こうの国へのパスポート」  
 トンケ・ドラフト：作（岩波書店）  
 トム先生のクラスの子もたちは、作家からのなぞとときに挑み、ドアの向こうの国に行こうとがんばります。ドアの向こうにあるのは…？



「図書館がくれた宝物」  
 ケイト・アルバス：作（徳間書店）  
 両親のいない3人兄弟の疎開先での心のよりどころは、村の図書館。そんな3人は、ひそかに「本当の親」になってくれる人を探して…。



「海よ光れ！：3.11被災者を励ました学校新聞」  
 田沢五月：作（国土社）  
 2011年、東日本大震災が起きました。その避難所となった小学校で、被災者である小学生が、地域の被災者までも励ましたそうです。

7月の「みはらおはなしの会」の読み聞かせは、7月4日、18日です。お楽しみに！！

